

情報提供
これからの
ゲーム設定です
二日目の夜になりました。
た。雪はやみ、暖房の無
い部屋の室温は8度くら
いですが、下がりがつづ
いてます。近所の人たち
が炊き出しで豚汁の提供
をはじめました。

イベント37
災害対策本部ですが、
仮設風呂1基が今夜到
着します。どこに設置す
るか決めてください。

うにさん
東池3班
女36歳
全歳
世帯主・長女
母子世帯。12歳の女児が
行方不明。子どもが飼っ
ていたインコ2羽を連れ
てきた。

「北海道の冬」×「直下型地震」
命を守るための判断を学ぶ

避難所運営ゲーム (HUG) 北海道
2025

Doはぐ

貸出
無料!

一般的な防災訓練だけでは、なかなか身につかない「判断力」と「協働力」。
「Doはぐ」は、真冬の直下型地震という北海道特有の厳しい状況を想定し、
約250枚のカードを使い、参加者全員が避難所運営の当事者となって、
次々と起こる課題をチームで議論・解決していく防災教育カードゲームです。

イベント31
グラウンドが避難者の車
両で一杯になっている。
夜になる前に駐車ス
ペース確保のために除
雪が必要です。避難して
いる人の中で除雪当番
を決めませんか。

情報提供
これからの
ゲーム設定です
日差しがなくなり、急に
降った雪が強く降り出し
ました。暖房の無い部屋
の室温は10度。避難者
たちは全体的に寒れが
目立ってきています。

くまげらさん
南田3班
男50歳
全歳
世帯主・父・母
世帯主の父は手話ので
きる聴覚障がい者。世
帯主も手話ができる。

POINT 01 要配慮者への「気づき」

高齢者や妊婦、お子様、障がいのある方など、それぞれの事情を持つ避難者のニーズを理解し、人道的な配慮と公平性を両立させた判断力が鍛えられます。

POINT 02 北海道特有の「厳しさ」と「備えの重要性」

暖房が使えない、雪で物資が遅れるなど、寒冷地特有の過酷な現実を認識し、事前の備えの重要性を学びます。

POINT 03 災害時における「対応力」

食料配分、トイレの確保、トラブル対応など、正解のない課題にチームで優先順位をつけ、刻一刻と変化する状況に対応する力を養います。

様々な場面で活用いただいています

町内会・自主防災組織

地域住民の防災意識向上に

学校 (総合学習)

防災と地域課題を考える教育ツールに

企業

BCP研修や従業員の危機管理研修に

無料

初めての実施でも安心!

講師 (Doはぐマスター) 派遣します

講師 (Doはぐマスター) がDoはぐのゲーム進行・解説役を務めます。
お申し込みの際に
お気軽にご相談ください。

お申込み

お近くの 振興局危機対策室
または 北海道庁危機対策課 まで

貸出・申込みに
関する詳細はこちら

TEL.011-206-7804 (直通)
somu.bosai22@pref.hokkaido.lg.jp

北海道